

Part1 に続き、初夏のフローリィのご紹介です。Part2 は、カラーエリアを中心としたレポートです。



【青のエリア】

今年もチューリップの球根と一緒に植えたアリウム ギガンチュームが開花しました。ユリ科ネギ属なので球根はネギの匂いのする大きなニンニクです。それがこんなに大きく立派な花を咲かせてくれるのがびっくりします。ガーデンにはなくてはならない植物です。



【ラベンダーエリア】

6 月に入った頃から咲き始めたラベンダーは、中旬になると満開になりました。少しラベンダーに触れただけで、あっという間にステキな香に包まれます。このエリアに立ち寄った時は、ぜひ見るだけでなく触れてみて下さい。とてもリラックスした気持ちになりますよ。花が終わる 7 月になると、ポプリにするため全体を丸く刈り込む作業が始まります。



セントーレアのアレンジ

咲き始めは濃いピンクで、徐々に花の色が淡くなってきます。植替えの時にきれいな花を摘んでアレンジメントを作ってみました。

【ピンクのエリア】

華やかな印象のピンクエリア。イチゴの様な形のトリフォリウム ルーベンシスは赤のエリアにあったトリフォリウム ストロベリートーチよりも開花が遅く初夏のガーデンにボリュームを与えてくれます。



トリフォリウム
ルーベンシス

ストロベリートーチは春の一年草なので5月の中旬には満開を向かえます（フローリィではチューリップの開花後に満開です）。ルーベンシスは宿根草なので6月に満開になります。ストロベリートーチよりも草姿は暴れないように感じます。

マルバ アップルブロッサム

縞の入った高級和紙の様な花びらは、色こそ薄いピンク色ですが、その繊細な花びらからハッと目を引かれる方は多いのではないのでしょうか。

雨上がりの時にみるこの植物は格段に美しく、雨粒が花びらについている様子は、本当に撥水加工をされた紙細工のようです。



【赤のエリア】

葉や花の形が様々植栽されているのが赤エリアです。

グラジオラスの剣の様な形をした葉が程よいアクセントになっています。もう少し今後ボリュームを持たせて見せて行きたいと思っています。

ホリーホック、セントーレア ブラックボール、ニコチアナ ベイビーゼラ、ダリア“黒蝶”、ペンタス サマースター、コキア、センバフローレンス、ペチュニア、サルビア 等





【白のエリア】

今、一番草花がのびのびと美しい季節です。寒かった時期から暑くなる時期までの、ほんの短い間だけのスペシャルな期間です。美しく見せるためにスタッフが細かくメンテナンスをしているのはもちろんですが、美しく花が咲ける様な丈夫な苗を育て、なかなか市場には流通しないマニアックな珍しい苗を生産され、植物を市場から手配してくださる、そんなプロの方々がいるからこそだと思っています。

【黒のエリア】

